

2023年度 第33回 こうさい療育・支援セミナー

【 開 催 要 項 】

1. 開催目的

本セミナーは、弘済学園開設 35 周年を記念し、その開催を始め、今回で第 33 回目を迎えます。これまで多岐にわたる実践的テーマを軸に、参加者と各々の立場からの実践と知見とを分かち合う場として、回を重ねてまいりました。各領域・各分野で期待される将来展望を切り拓く一助になることを願い、本セミナーを開催いたします。

2. テーマと趣旨

「生活を支える・家庭を支える」

加配制度や児童発達支援、特別支援教育や放課後等デイサービス、障害者雇用や就労継続・定着支援・生活介護など、知的障害や発達障害などのあるお子さん・利用者さんの、能力や特性に見合った日中活動の場は大きな広がりを見せています。しかし、家庭での生活リズムの整えや気持ちの充足が十分になされていないければ、日中活動の場で持っている力を十分に発揮することはできません。

ご家族がご本人の現状を正しくとらえ、ライフステージに見合った適切なかかわり方を実践することにより、ご本人は充足感を得ますが、ご家庭やご家族がうまく機能していないケースに出会うことも、少なくありません。ハンディキャップのあるお子さん・利用者さんの育児・養育・かかわりに、むずかしさを抱いておられるご家族が、たくさんいらっしゃいます。

今回のセミナーは、お子さん・利用者さんを根底から支える「生活・家庭・家族」への支援に焦点を当てました。たいへん基本的で古典的なテーマですが、未来にわたって、これからも永遠に向き合わなければならぬテーマでもあります。午後の部では、当園が運営している未就学通所、児童入所、成人期通所、それぞれの分野から、テーマに沿った実践報告をさせていただきます。

なお、本セミナーの大きな特色のひとつは、実際の支援現場を参観していただく「療育支援公開」にありました。コロナウイルスが5類に移行になりましたが、現状では対面・集合形式の参観はむずかしいと考えています。今回も昨年度に引き続き、日常の支援場面を撮影した動画を含めた紹介で、園の概要を説明させていただきますこと、ご了承ください。

3. 主 催 公益財団法人 鉄道弘済会

4. 日 時 2024年3月1日(金) 10:00～16:00

※ 開催後に、当日参加が困難な方に向けたオンデマンド配信を予定しています。

5. 開催方法 ウェビナーを使用したオンライン開催

6. プログラム

| | |
|---------------|--------|
| 10:00 | 開会の挨拶 |
| 10:10 ～ 11:00 | 施設概要説明 |
| 11:00 ～ 12:00 | 基調講演 |
| 12:00 ～ 13:00 | 休憩 |
| 13:00 ～ 13:50 | 実践報告① |
| 14:00 ～ 14:50 | 実践報告② |
| 15:00 ～ 15:50 | 実践報告③ |
| 15:50 | 閉会の挨拶 |

施設概要説明

10:10～11:00

「療育・支援の紹介 ～三つの目標を実現するために～」

福祉研究員 原田人志

学園生活を送るお子さん一人ひとりの成長を後押しする本人支援、そして、施設に我が子を託す決断をした保護者を支える家族支援。この使命を果たすため、弘済学園ではずっと受け継がれ、大切にしている三つの目標があります。この目標を実現するため、弘済学園を利用するお子さんの特性や傾向に合わせて展開する、弘済学園の特徴ある療育・支援のスタイルと実際の様子を、映像も交えて紹介します。

「家族がエネルギーを取り戻すプロセス」

園長 大永 篤

当時4歳だった発達障害のある男子、Aさん。母ひとり子ひとりのご家庭では、お母さんに対する暴力が激しく、お母さんはメニエール氏病を発症、Aさんの養育に疲労困憊、その年の9月から当園に契約入所となりました。あれから4年半、小学3年生となったAさんは、今年度の3月で当園を退所して、4月からは在宅から地元の小学校に通学できるまでに安定を獲得、お母さんは元気とエネルギーを取り戻されました。Aさんとお母さんのこれまでの軌跡を振り返りながら、本人支援・家族支援について、お話します。

実践報告 ①

13:00~13:50

「毎日通園でのリアルタイムの親支援 ～システムの紹介から～」

地域生活支援課課長/児童発達支援センター「すきっぷ」 所長 松山明美
 地域生活支援課 福祉指導員 山本涼子

発達に気がかりのある子どもたちや障害のある子どもたちの子育ては、「オーダーメイド」の視点が必要だと言われます。そして、そのときに生じる困り感に対してリアルタイムに答えていけるのが、毎日通園の強みでしょう。

今回の実践報告では、児童発達支援センター「すきっぷ」で行っている親支援にスポットを当て、その中身をご紹介します。

実践報告 ②

14:00~14:50

「不穏な状態と他害から家庭・学校生活が困難になったBさんの変容と児童入所施設の役割」

療育支援課課長/福祉型障害児入所施設「児童寮」 児童発達支援管理責任者 北嶋新一
 療育支援課 福祉指導員 鈴木耕平

中学生年齢で障害児入所施設に入所することになったBさん。入所前の家庭や学校生活では、些細なことで不穏な状態に陥り、他害が頻発するような悪循環となっており、ご家族はその対応に苦慮・困惑されていました。

入所施設の利用という選択によって、Bさん自身の成長、ご家族とBさんとの向き合い方などが、どのように変容していったのかについて報告します。さらに、この事例を通して、また、当園の一般的な入所ニーズなどにも触れながら、障害児入所施設の役割についても考えます。

「青年期にある人の『地域で生きる力』を引き出すために**～日中支援と生活支援の連携について～」**

地域生活支援課担当課長/弘済学園グループホーム サービス管理責任者 大倉由寛

地域生活支援課担当課長/弘済学園デイケアセンター サービス管理責任者 山崎 圭

生活介護と就労継続支援B型の多機能事業所「弘済学園デイケアセンター」と、共同生活援助事業「弘済学園グループホーム」との連携に関する実践報告です。弘済学園では、18歳で高等部を卒業後、大よそ28～30歳までぐらいを「発達が十分期待できる年齢」ととらえています。一人ひとりが持っている力を最大限に発揮し、「継続して働く力」を身につけ、その人らしい生活を送っていくためには、「充実した日中活動の機会」と、それを支える「生活領域の整え」が欠かせないと考えます。

家庭生活を支える日中支援と生活支援の連携の実践を、報告します。

質問受付

当日、Zoom ウェビナー画面より質問を受け付けます。

※ 全ての質問にはお答えすることができません。あらかじめご承知おきください。

7. 申込方法

鉄道弘済会ホームページ(https://www.kousaikai.or.jp/school/information/info_message/seminar/)、もしくはQRコードよりお申し込みください。オンデマンド配信ご希望の方も、申し込みフォームよりお申し込みください。

**8. 個人情報の取扱いについて**

受講のお申し込みの際してお預かりする個人情報は、次回以降のセミナー開催案内など、本セミナーに関する内容のみに使用いたします。

9. 注意事項ほか

受講に必要な機材(PC、スマートフォン、タブレットなど)とインターネット環境をご用意ください。

- ※ 動画配信形式のため、多くの通信料がかかります(視聴に伴う通信料などは受講者負担になります)。
- ※ 通信環境によっては、動画の乱れが生じる場合があります。
- ※ インターネット接続に関する不具合やお問い合わせなどには、対応できかねます。

お申し込み時に、Zoom 社より受講時に使用する URL が送信されます。

メールアドレスの記入ミスなどにご注意下さい。

本法人の許可なく、資料の一部およびすべてを複製、転載、または配布、印刷などし、第三者の利益に供することを禁止いたします。また、配信画面の録画、録音および撮影などは固くお断りいたします。

【お問い合わせ先】

公益財団法人鉄道弘済会 社会福祉第二部

こうさい療育・支援セミナー担当

TEL : 03-6261-3199

E-mail: ryoikuseminar@kousaikai.or.jp

